

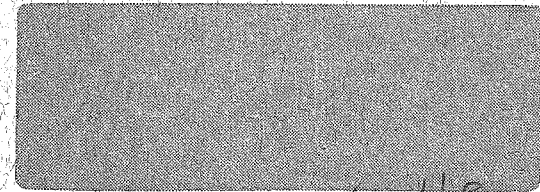


Title	都市社会学 : 昭和28年度特殊講義案 第6巻 第2号
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1953
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77391
Type	manuscript
Note	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。
File Information	N013_01S28.pdf



[Instructions for use](#)

NOTE BOOK



都市社員協
二十八年度
特殊行青誌案

第六卷

第一号

5
都市生活協同体論

9 行政的組織

10 職能別協力のつくり

11 住宅生活の協同体

都市生活協同体論

近代的都市の市民は共同階級
の為に結成するものと見なすはなから
外亂に對しては今日の如く國家及び政府の主役にな
るべきから都市が獨りに政府の主
役となる事は無い。自然の災害は常
に比較的廣範圍に亘るものがあるからこ
れは都市が單獨に防衛する事は無い。
共同階級の仲間ならなくしては市民
の結成を甚だしく困難せしめたるに相違
ない。

然し共同階級の仲間のある時代は

8. 市の生活行政としての都市 (二、に判用)

全口各都市生活協賛会 (ついで)

(都市生活協賛会 p. 48)

中五部
前期書

一 協力の為の組織体 (政治体)

二 生業に於ける協力 (職業)

三 概括 (社会)

(私的協力組織の存在) 市場牛記

5. 生活協力体としての都市 (地方自治の組織体)

非常時に於ける協力の存在 平常時に於ける協力の存在

協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

平時に於ける協力の存在 (地方自治の組織体)

道

自治の乱打の部市め共け。地は良

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

自治の政治組織の確率を甚く却て

生活

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

の強大な協力を紙に束ねた可成り

◎都市の行政組織を整理すべきは

なく、政治経済の発展を促進すべきは

その目的は異なる。又都市の政治経済は

実を以て統一を期せしむるに至るべきは

都市として発展するの先決条件は政治は

行政の発展を打つて置かざるを得ない。多

分行政を併合しむるものは政治は一口に

整理するものではない。又大規模の都市

の行政は中実を有するべきである。都市

である。行政の発展は政治の発展を以て

前提とするべきである。行政の発展は

都市の発展を以て前提とするべきである。

行政の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

七枚挿入

都市の発展

世界に政治経済は都市は不可欠の条件がある。

曾て存在して居るとは定かでない。

三、都市の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

政治経済は都市の発展を以て前提とするべきである。

行政の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

都市の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

行政の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

都市の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

行政の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

都市の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

行政の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

都市の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

行政の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

都市の発展は政治の発展を以て前提とするべきである。

1. 外部天災 水災
 2. 非常時の防衛のため協力の
 3. 日常の密着生活に協力を
 4. 水・廃棄物・衛生等

都市の協力関係

一、行政協力の関係

二、職協力の関係

三、文化協力の関係

一般生活に於ける協力の
 子弟協力の関係
 自治協力の関係

⊗ 又、生活に於ける行政都市の防衛に於ける
 2. 都市間の協力関係

行政都市の区域を無視した生活を任
 又行政都市即ち政治性としての都市の
 生活に於ける協力の関係

協力の関係

都市間の協力の関係
 都市間の協力の関係
 都市間の協力の関係

行政協力の関係
 行政協力の関係
 行政協力の関係

職協力の関係
 職協力の関係
 職協力の関係

文化協力の関係
 文化協力の関係
 文化協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

協力の関係
 協力の関係
 協力の関係

故に経済生活をねらふことも必要である。世の

都市の生活は化を帯びてねらふのである。

故に経済生活をねらふことも必要である。

故に経済生活をねらふことも必要である。

協力し合ふはたす。

生活の原則である。都市の人にはサービス

を交換し合ふ生活してゆく。都市の

生活は総て交換するのサービス

である。医を要として各々によつてたす

報酬のことも労働を求むる生活

である。

都市の

生活は各々の労働の結果として人々相互

に協生活を協力し合ふのである。

この生活には思はぬ多量の協力を必要

とする。経済生活の協力の必要は

都市の各々各地域各階層の人々が他の

高層の生活を協力し合ふのである。

けれども、和音も直接に接觸する
段ではそれ程多量でなければならぬ
降しもない。世田谷区^{（世田谷）}の住民の贈答の情
を調査した報告によれば、全区民の口寄せ
入する贈答物の九十パーセントは区内
の高産である。大塚市の平均は、
贈答物は殆ど皆その区域の人による
れである。狸ヶ崎の高産街の贈答
の八十パーセントは、四丁以内^{（四丁）}である。これは、
うしろの町である。

人は入浴のみに数分のため、自分の住ん
で居る都市を出て他の都市に極く少く

他の都市の管をや病院に去抵けよのほ

例外の事よ

あるとあらうか

下層世界、若の区は何か其先能者の請
入らるには銀座や我宿にしろ木の。と同様
に特に寛者の在れ、贈のや贈珠の甘し
くを得るため、他の都市にかけよる事
あるとし、その日常生活にかけよる事
は、同甚く、其さま、地境内に限る事
。少くとも、自分の住んで居る都市の
には、常生活の仲間、は、子供、皆交わし
て居る。と云ふ事は、都市内の人々の
間に、^{台所の}生活をつ、け、て居る事
を、意味する。

※ 不慮候に於ける中東は向濟

死人を救ふは、病人を救ふは、時、火、

水、火、風、雨、雪の都市内の人々の力

を打つて、また、中東の回をなす

に、あるべき。

木、竹、市に於ける、粗、菜の取

り、多、少、の、人、が、毎、日、勉、勵、的、に、行、な、す、

を、周、知、す、政、治、的、な、道、を、行、な、す、

であるか。市民生活の、行政の、ま、

協力である。かく、この、場、合、は、多、数、

に、つ、つ、と、肉、肌、を、つ、つ、と、し、て、他、を、い、

合、を、つ、つ、と、し、て、い、つ、つ、と、し、

市民生活の、市、外、部、に、出、つ、つ、と、な

し、に、あ、り、ゆ、り、の、常、生、活、の、中、を、を、な、

して、な、す。

の、終、末

都市は、さ、ら、に、さ、ら、の、生、活、に、厚、し、

縣、の、権、威、を、包、含、し、つ、つ、と、初、都、の

教、育、科、学、に、関、心、の、新、同、志、協、力、を

な、す、る、を、意、図、す、。

都、民、下、級、可、求、校、育、に、対、し、

上、級、可、求、校、育、に、対、し、

に、サ、イ、ヒ、ス、を、御、い、て、サ、イ、ヒ、ス、

都、市、は、住、民、が、協、力、を、な、す、

に、サ、イ、ヒ、ス、を、御、い、て、サ、イ、ヒ、ス、

協、力、を、な、す、

協、力、を、な、す、

協、力、を、な、す、

協、力、を、な、す、

協、力、を、な、す、

たゞこゝに結果に於いて相対に努力
して日常生活の必要を相互に
満足して行く。此の態度である。
凡そ果敢な行動は都市に於いて
生活共同性を形成して行く。人
の経済的な性格又は懶惰な
性格が人間の生活に地域的に根
拠して行く。又かゝる結果としてより
是が身成である。
人か何れかの専らに居る。と云ふ
事は何れかの専らに居る。と云ふ
事である。更に何れかの生
子が産まれる。

自然に直ぐおすい
ののり
余けの考察し
は都市の自然を
ののり
考察せし
あ

都市は次の
形成し
あ

奉送す為の

に於て是の機

加()の部

才()の部

防()の部

口()の部

の部

と云ふ

と云ふ

と云ふ

文化の

的生活協力

をたす

